

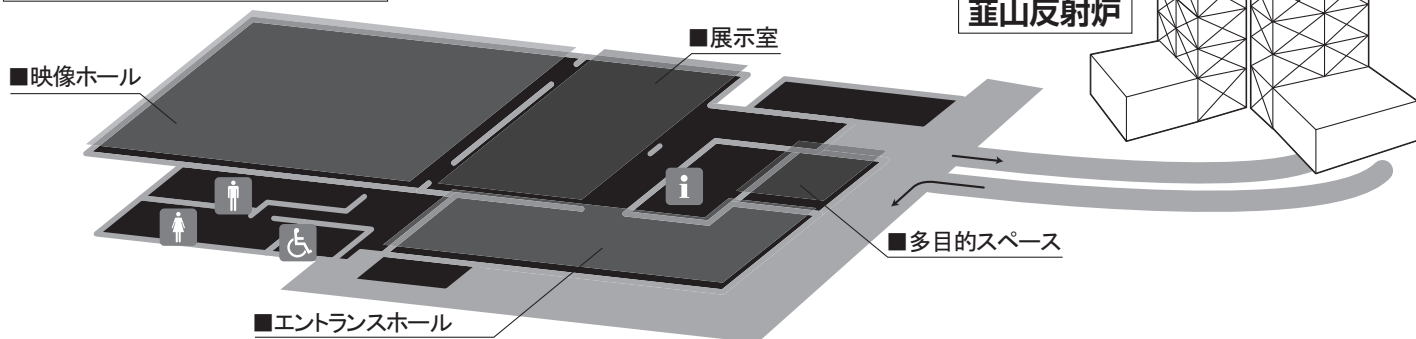


映像ホール

葦山代官江川太郎左衛門英龍が「葦山反射炉」を築造するに至った経緯をはじめ、日本の重工業近代化の礎となった「葦山反射炉」で実際に大砲を鑄造する様子など、CG映像により再現された当時の詳しい状況が、5m×10mの大スクリーンに映し出されます。また、これまでの保存の歴史や世界に認められるまでの状況を伝えます。

映像：約8分、1回の観覧数60人程度

ガイダンスセンター案内図



展示室

葦山反射炉築造の経緯や鑄造の仕組み、関連する日本の歴史的な事柄など、来館者に葦山反射炉の歴史や文化財としての保存等について展示物によりわかりやすく伝えます。

また、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の内容についても紹介しています。



エントランスホール

葦山反射炉を望む、明るく開放的なエントランスホール。受付や案内を行うインフォメーション。



多目的スペース

企画展示やギャラリー、体験スペースとして活用できる多目的スペース。